

# めざせ！いきものが よろこぶあさひ川

岡山市・岡山大付属小1年 岩上 竜之介

「あっ、またゴミだ。」  
つかまえたバツタのすべゆいにおかし  
のふくろがあったので、おとうさんとお  
かあさんにしらせました。みんながっか  
りしました。

ぼくは、はるからあきまで、かぞくみ  
んなであさひ川のかせんじきで虫とりを  
します。虫とりはともたのしいけど、  
虫よりもゴミがおおいな、とおもって  
きました。

かせんじきは、そこにいる虫や、とり  
やいさかなのおうちなのに、たくさん  
のゴミ

ミがおちています。ぼくは、いやなき  
もちになったけど、そんなきもちにな  
っているのがぼくたちだけなら、ゴミ  
をすてるひとのほつがおおいから、か  
せんじきはゴミだらけになるかもしれ  
ない、とおもってかなしくなりました。  
だれだって、じぶんのおうちにゴミ  
をすてられたりしたら、いやだよね。  
きれいなおうちほうれしくなるよね。  
そんなとき、ぼくは、たくさん  
のゴミをひらいて、おとうさんと  
おとうさんがあさひ川でゴミをひら  
いて、いやなき

## 川ごみ防ぎ海守ろう 岡山のNPO・旭川清掃 市民ら70人実態学ぶ

ペットボトルなど天  
量のごみがたまってい  
る岡山市中区平井の旭  
川河川敷で26日、NPO  
法人の呼び掛けによ  
る清掃活動が行われ、  
市民ら約70人が回収を  
通じて川から海に多く  
のごみが流れ出ている  
実態を学んだ。



河川敷に流れ着いたごみを回収する参加者

瀬戸内海的环境保全 詰め  
の川べりを約10  
30分余りで45部のごみ  
袋約40袋分(重さ約54  
キ)が集まり、堆積す  
るごみの多さに驚きの  
声が上がった。  
操山高1年三木悠也  
さん(16)は「目をこら  
さないと分らない劣  
化したプラスチックご  
みもあった。回収が困  
難になる前に捨つのは  
当然だが、普段からご  
みを出さない生活を心  
掛けたい」と話した。  
(太田孝一)

2021年9月27日付 山陽新聞

きもちになっているのはぼくだけじゃ  
ないことがわかりました。おにいさん  
が、よみないといわからぬゴミまで  
ひろったのも、すごいとおもいました。  
きれいにするために、みんながき  
れいにしたいとおもつことからはじま  
るけど、おもっただけじゃなくて、じ  
ぶんでひろつことがたいせつだとわか  
りました。ぼくはすこししかひろえな  
いけど、たくさんのおとなやもだち  
といっしょにできたら、ほんとうにあ  
さひ川をきれいにできるかもしれませ  
ん。  
しんぶんにかいてあったから、ぼく  
とおなじことをおもっているひとたち  
が、たくさんいることがわかってうれ  
しくなりました。  
これからも、ゴミをなくしてきれ  
いでいきものがよろこぶあさひ川にする  
ためにどうしたらいいか、しんぶんを  
よんで、おとうさんやおかあさんとい  
っしょにかんがえたり、せんせいやと  
もだちとおはなしをしたりして、じぶ  
んでできることをやろうとおもいま  
す。

### 寸評

いつも虫取り  
をする川のごみ  
が気になっていたことで、記事の  
活動に注目しています。ごみがあ  
ることへの悲しさ、川をきれいに  
したいという素直な気持ちが胸に  
響きます。